

玉井小だより

平成27年10月14日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

修学旅行、「世界が広がる」喜び



【阿賀川の荻野漕艇場で】

6年生は10月1日（木）、2日（金）の2日間、会津方面へ修学旅行に出かけました。

事前の学習や準備がきちんとできていたこともあり、子供たちはとても生きいきと活動していました。

特に、ボートを漕ぐ体験は、子供たちにとって、未知の世界です。実際にボートに乗るまでは多少の不安もあったようです。でもいざ阿賀川に漕ぎ出すと、子供たちは眼を輝かせて、インストラクターの先生のかけ声に合わせ、一生けんめい漕いでいました。

このような経験を通して、子供たちの世界は広がっていきます。そして「世界が広がる」ことは、本当にうれしいことだと思います。

子供たちも今回の修学旅行でそれぞれが「自分の世界」を広げることができたのではないかと思います。そして、一生の思い出になったことと思います。

10月1日、木曜日に会津へ出発しました。

一日目はA班とB班に分かれて活動しました。まず「カイギュウランドたかさと」へ行きました。最初に（地層の）DVDを見て、会津は地層が多くてとても化石が見つかりやすいということを知りました。その後、化石を掘りに行きました。最初は大きな石にねらいを定めてやりました。ですが、なかなか割れず、あきらめて、ひっくり返すと化石が裏にありました。とてもびっくりして、「あった！」と思わず言ってしまいました。

午後はボートに乗りました。（ボート倉庫の）上の階でオールをこぐ練習をしました。その後、少し風が出てきて、ボートに乗れるか心配でしたが、乗れました。最初はこわかったけど、だんだん慣れてきてボートの上が、だんだん心地よくなりました。

二日目は飯盛山、さざえ堂へ行きました。バスで着くと、先生が「階段ダッシュをします。」と言いました。ぼくはびっくりしました。山のふもとから中腹までありそうな階段をダッシュするのは、とてもつらそうだったからです。スタートすると、途中からは歩いて行きました。上へ着くと白虎隊が自害した場所でした。そこから飯盛山を見て回り、さざえ堂へ着きました。さざえ堂はらせん階段になっていて、入ったところとは別の違うところから出てきました。

次にフィールドワークをしました。フィールドワークで乗るバスは20分後のはずでしたが、バスが20分早く来て、とてもラッキーでした。

その後も幸運が続き、予定の2時間前に（集合場所）に着いてしまいました。

これでまた小学校の思い出が増えました。

（6年 山口晴翔）

かかわりの中で学ぶ

10月9日（金）4年生が全員で安達太良登山に挑戦しました。

紅葉が最もきれいな時期で、天候も恵まれ、順調に安達太良山頂の下まで進みました。しかしさすがに1,700メートルの安達太良山です。頂上への稜線は風が強く、歩くのもやっとでした。幸い保護者のボランティアのみなさま10名と山の会の鈴木喜男さんと渡辺正さんが付き添ってくださっていましたので、子供たちも手を取り合い、励まし合いながら予定どおり下山することができました。子供たちにとっては、心に残る貴重な経験になりました。本当にありがとうございました。



【4年生全員登頂達成】

さて、学校では学習発表会の練習が本格的になってきました。4年生では琴の練習の支援に、そして5年生では田植え踊りの衣装の着付けのお手伝い等に地域のみなさまや保護者のみなさまの学習参加・支援をお願いしました。たくさんの方の申し込みをいただき、本当にありがたく思っております。

これからの時代は、様々な人とのかかわりの中で学ぶことが特に大事だと言われています。ぜひともたくさんのみなさまに学校に来ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

「玉っ子学習発表会」のスローガン決定！

児童会が中心になり、今年のスローガンが決まりました。

11月7日（土）が発表会です。現代版桃太郎からマチュピチュの野内与吉さんの活躍にヒントを得た創作劇まで、各学年趣向を凝らした発表になると思います。もちろん大玉村の伝統芸能「田植え踊り」の発表もあります。保護者のみなさまをはじめたくさんの方に見ていただきたいと思います。

スローガン：『大玉村から出発進行！！ みんなの希望を乗せて』

お知らせ

これまでお世話になりました支援員の佐久間法子先生がご退職になりましたので、10月5日（月）から新たに伊藤絵美先生が支援員として着任しました。

前任の佐久間先生同様、よろしくお願いいたします。



【伊藤絵美先生】